



御殿場線19駅ウォーク(第2ステージ)

2015.02.22 普通 17km ゆったり 11km

コース紹介

御殿場線19駅ウォークの第2ステージです。東山北駅近傍で降車し、東山北駅横を通り、尺里(しゃくり)川沿いの向原(むこうはら)公園でトイレと体操です。その後山北駅まで歩き、駅とふるさと交流センターでトイレ休憩です。山北駅を過ぎると、御殿場線沿いの道路は線路より高い位置にあり、桜並木もあって、電車が通った時に跨線橋から見る光景は素晴らしいものがあります。その後、谷峨(やが)駅までの道は旧 R246で、若干の登りが続きます。焦らずゆっくり行きましょう。途中、御殿場線が複線だったころの名残のトンネルを見ることができます。東名高速道路の赤い橋桁が美しい場所です。谷峨駅手前でいったんバスに乗り、洒水(しゃすい)の滝駐車場まで行き、ここから川沿いの遊歩道を少し歩いて洒水の滝周辺で昼食です。日本の滝百選に選ばれている名瀑です。昼食後はバスで谷峨駅手前まで行き、ウォーク再開です。午後はR246を中心に歩きます。しっかりした歩道はありますが、交通量も多く、トンネルもありますので、十分注意願います。ゴールは駿河小山駅です。駅と駅前の「まちの駅」のトイレをお借りします。ゆったりコースは昼食後そのままバスで丹沢湖に行き散策します。

洒水(しゃすい)の滝

酒匂川の支流、滝沢川から流れ落ちる洒水の滝は、「日本の滝百選」、またその水は「全国名水百選」に選ばれている名瀑である。「洒水」=「しゃすい」の名は、密教用語で清浄を念じてそそぐ香水を指すという。「洒」そのものは、洗ったようにさっぱりしている、水で洗い清めるという意味。洒という字は酒に似ているので今まで洒落(しゃらく、しゃれ)を洒落と書いていませんでしたか？雄大なその姿は三段からなり、落差は一の滝は 69m、二の滝は 16m、三の滝は 29m という豪快な滝で、古くから相模の国第一の滝とされ「新編相模国風土記稿」では、「蛇水の滝」と記されている。この滝は鎌倉時代の名僧文覚上人が百日間も滝に打たれる荒行を積んだ地としても知られており、付近には文覚上人が安置したといわれる滝不動尊(不動明王「穴不動」)がある。

国府津駅→沼津駅 歩き継ぎ
(5日間 約75km)
第2ステージ
東山北駅～駿河小山駅

参加者の皆様へ

- 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

コース

| | | | | | |
|--------|--------|---------------|--------------|--------------|---------------------------------|
| 往路(バス) | 富士宮駅南口 | ＝新富士IC | ＝足柄SA(WC) | ＝大井松田IC | |
| | 7:30 | | | | 8:00～8:15 |
| | | | | ＝東山北駅手前 | |
| | | | | 8:50 | |
| ウォーク | 東山北駅手前 | ・東山北駅 | ・向原公園(WC・体操) | ・山北駅(WC) | ・一休食堂駐車場 |
| | 8:55 | 9:00 | 9:10～30 | 10:20～40 | 12:10 |
| | | ＝バス＝ | 洒水の滝駐車場 | ・洒水の滝(昼食・WC) | ・洒水の滝駐車場 |
| | | | 12:20 | 12:35～ | 13:30 |
| | | ＝バス＝ | 一休食堂駐車場 | ・谷峨駅 | ・駿河小山駅(ゴール・WC) |
| | | | 13:40 | 13:50 | 15:20～15:40 |
| | | | | | * ゆったりコースは洒水の滝駐車場からバスで丹沢湖に行きます。 |
| 復路(バス) | 駿河小山駅 | ＝道の駅ふじおやま(WC) | ＝御殿場IC | ＝新富士IC | ＝富士宮駅南口 |
| | 15:40 | | | | 17:20 |
| | | | | | 16:00～20 |

次回申込 (車中で)

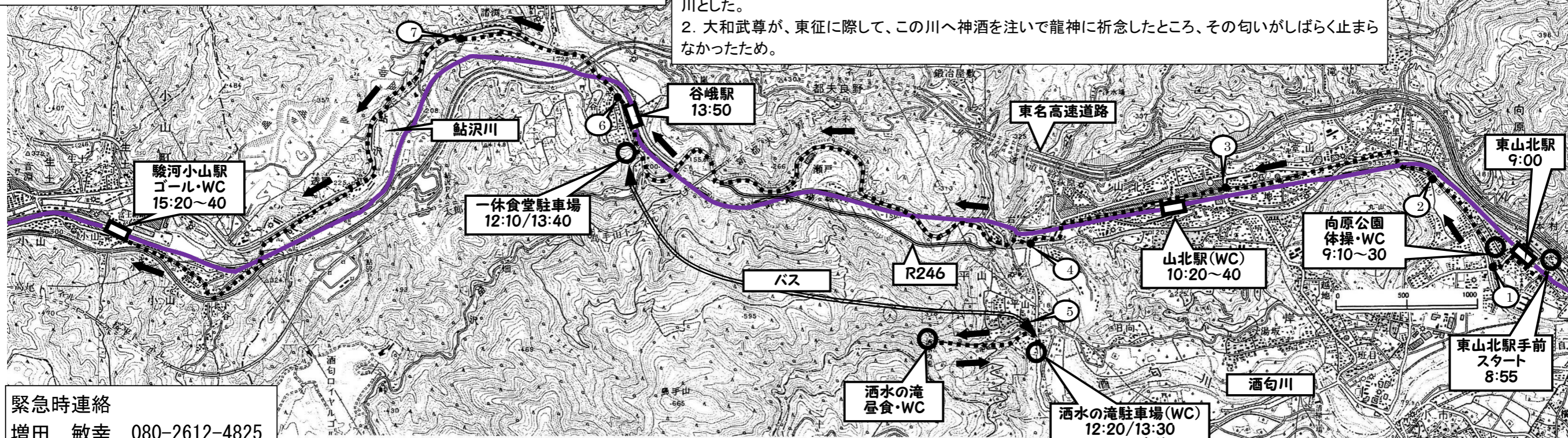
世界遺産
三保の松原とカモメウォーク

- ☆期日 3月22日(日)
- ☆集合 富士宮駅南口 8:00
- ☆参加費 3000円
- ☆切 3月17日(火)

酒匂川

酒匂川は、神奈川県西部に位置し、神奈川県では相模川に次いで2番目に大きな河川である。源流は、富士山麓と箱根外輪山にある。静岡県内を流れる鮎沢川が、神奈川県に入ると酒匂川に名前を変える。酒匂川は、山北町谷峨で、急峻な丹沢山地から流れ出る河内川と合流し、足柄平野を流下して、相模湾に注ぐ。幹線流路延長は約46キロメートル、流域面積582平方キロメートル。「酒匂川」という名前は、鎌倉時代初期から文献に現れる。それ以前には、丸子川、鞠子川、相沢川などと呼ばれていた。名前の由来は、下記の2つの説がある。

- 元は「まりこ川」と呼ばれていたが、その川沿いに酒匂という集落があったため、この名を取り、酒匂川とした。
- 大和武尊が、東征に際して、この川へ神酒を注いで龍神に祈念したところ、その匂いがしばらく止まらなかったため。



緊急時連絡
増田 敏幸 080-2612-4825
里見 祥一 090-6767-2474